

子ども家庭支援センターみらい【支援プログラム】

◆ 私たちがめざすもの(理念)

1. すべての障害児に0歳からの療育の場を保障することをめざします。
2. 科学的な発達観、障害児観にたち、子どもの人格全体の発達を促す療育の実践と理論を創造することをめざします。
3. 保険、医療、福祉、保育、教育、文化的ねがいなど、生活のあらゆる面において、障害児とその家族の思いを大切に、関係諸機関との連携、協力関係を密にしつつ、その実現を積極的にめざします。
4. 親たちをはじめ、子どもをとりまくすべての大人たちが子どもから学び、共に教え合い、育ちあう場となることをめざします。
5. 障害児とその家族はもちろんのこと、賛同、協力される団体、個人、みんなが主人公であり、みんなが経営者であるという、民主的全員参加の手作り共同体をめざします。
6. 地域に根ざし障害児をはじめ、すべての子どもたちが健やかに育ち、幸せに生活できる地域づくり、社会づくりをめざします。

◆ 営業時間【8:30~17:30】

◆ 送迎【有 無】

◆ 給食【有 無】

本人支援

- ・健康状態の把握(医療との連携)
- ・生活リズムの土台づくり(食べる・遊ぶ・眠る・排泄する)
- ・口腔機能及び感覚の状態を把握し、適切な支援の提供
- ・基本的な生活習慣、生活動作の形成及び獲得
- ・食育

健康・生活

- ・感覚の特性を踏まえた活動の提供
- ・日常生活に必要な基本動作の構築
- ・発達段階、発達特性に応じた遊びづくり
- ・変化する素材(砂・土・水・粉・豆・等)をつかった感覚統合遊び(身体・手指の操作性の向上)

運動・感覚

- ・子どもの実態を適切に評価
- ・子ども自身が「やってみたい」と自ら向かい、楽しみながら認知の発達を促す活動づくり(遊び・生活の中で習得)
- ・認知の特性を把握し、適切に処理し行動調整力を高める支援
- ・実体験や具体物を通して、発達段階に応じた数、重さ、大小、色等・・・の概念の習得

認知・行動

- ・人を求める心を育てる
- ・ことばの発達の基礎となる三項関係づくり
- ・伝えたい相手、伝えたい中身づくり
- ・子どもの発達段階に即し、心地よいコミュニケーションの習得(意志の伝達・場面理解)
- ・読む力、書く力の評価と特性に応じた支援の提供

言語・コミュニケーション

- ・愛着形成の評価
- ・安心できる人、大好きな人との信頼関係の構築
- ・大好きな遊びを通して、発達段階に即した、個から集団へ、そして社会への段階的支援
- ・年間を通したルール遊び、話し合い活動、他者や自己理解を育む活動の提供

人間関係・社会性

家族支援

- 安心して子育てができる環境づくり(家族全体を支援)
- 子育ての悩みや困り事への相談援助(いつでも対応可能)
- 子どもの発達状況や特性についての気づき支援と具体的対応についての支援(学びの場も)
- 保護者会サポート(保護者同士のつながりづくり・一人で悩む子育てからの脱却)
- 子育てに関する制度や支援機関についての情報提供及び学習会
- 関係機関との連携による支援体制の構築

地域支援 地域連携

- 併行通園先の園と連携を図り、具体的な支援方法や環境調整についての相談援助を行う
- 相談支援事業所との情報共有及びケース検討
- 関係機関との連携(児童発達支援センター・医療機関・保健センター・児童相談所・専門機関)
- 地域とつながる療育活動(田んぼ活動・森活動・もちつき会・園外活動その他行事)
- 防災訓練等での地域住民の参加(関係機関との連携)
- 町内会、民生委員との交流

移行支援

- 子どもの発達状況を踏まえ、将来を見据えた移行先についての検討(家庭への情報提供含む)
- 移行先の環境及び発達支援の実態に対する支援
- 移行先との連携(支援方法や環境づくり・直接的支援)
- 移行後の訪問及び相談支援

職員の 質の向上

- 事業所内研修(療育実践検討会・発達学習会・各種必要な研修:虐待・人権等含む)
- 法人研修
- 外部研修(県内及び全国の研修への参加参加)
- 日々の療育活動についての検討会・反省会(ケース会議)
- 他事業所への療育研修及び見学

主な行事

遠足(春・秋)／親子で森遊び／お米づくり(田植え・稲刈り等)／一日保育／お泊り保育
キャンプ／七夕／やきいもパーティー／ふれあいフェスタ／クリスマス会／もちつき会／新年の会
節分／ひなまつり会／卒園を祝う会／人形劇鑑賞／避難訓練／保護者学習交流会
※親子活動・家族で参加活動もあります。

